

業界初・IoTで通行人の関心を数値化・分析 ディスプレイ効果を数値化するカメラ Esasy

2016年2月1日より受注開始

サイン&ディスプレイ業大手の株式会社クレスト（所在地：東京都千代田区・代表取締役：永井 久志）と、株式会社フューチャースタンド（所在地：東京都文京区・代表取締役：鳥海 哲史）は、通行人の関心度を記録して店頭ディスプレイの効果を数値化する業界初のカメラ「Esasy（エサシー）」を共同開発し、2月1日から受注を開始します。これまで効果測定がしにくかった店頭ディスプレイの効果を数値化することで、より消費者に認知され、実売につながる店頭ディスプレイの設計が可能となります。

■製品の特長 ディスプレイ効果を数値化するカメラ「Esasy」

これまで成果がわかりにくかった屋外広告物の費用対効果を、専用のカメラを使って数値化します。①ディスプレイ前を通過する人数や人通りの多い時間帯の検知、②ディスプレイを見ているかどうかの検知③ディスプレイ前の滞留時間やディスプレイのどのエリアに関心を持つかなど、画像を元に数値化。薄型の製品なので、ポスターの裏側など通行人から死角になる場所に設置すれば、ディスプレイのデザイン性を損なうことはありません。これによって様々なディスプレイの効果を測定し、最適なデザインの設計、販売促進、企画業務に役立つとともに、消費者との購買関係の構築を支援します。



製品名：Esasy（エサシー）

種類：Wifiモデル（カメラとWifi dongle） 導入時128,000円(税別) /台 月額10,000円/台
LTEモデル（カメラと通信機器） 導入時155,000円(税別) /台 月額18,000円/台

販売方法：Esasy専用サイト（<http://www.esasy.tech/>）にて2016年2月1日より先行予約開始

販売台数：2016年内に1,000台を予定

※ いずれもリース契約となります。

※ Wifiモデルはお客様のネットワーク網を利用させていただくことを前提としています。

※ LTEモデルは電波の都合によりご利用いただけない場合があります。

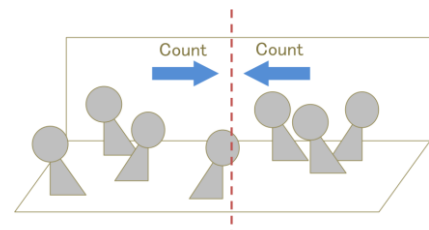
■店頭ディスプレイの課題に対して「Esasy」が3つの解決法を提示

これまで店頭ディスプレイは、路面の交通量の多さやディスプレイのデザイン性で評価することはできても、「果たしてそのディスプレイを何人が見ているのか」「そのディスプレイのどの部分に注目が集まっているか」を測定することができませんでした。つまり、店頭ディスプレイ自体が消費者の購買活動につながっているかがわからなかったのです。

これを解決するために、Esasyは下記3つの解決策を提示します。

① 計測分母を正しく把握する

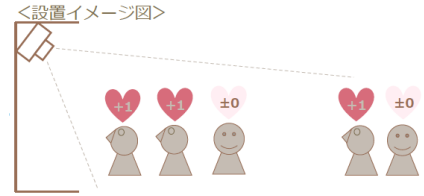
分析の前提条件となる「通過人数」を正しく把握します。ディスプレイの前を通った人数や通った時間。広告効果を測定するためのベースとなる人数を簡単に、正確に、素早く把握することが可能です。



＜お問い合わせ＞ 株式会社クレスト 広報担当
株式会社コミュニケーションデザイン 担当：落合、玉木
TEL 03-5545-1661 FAX 03-5545-1662 E-mail ochiai@cd-j.net

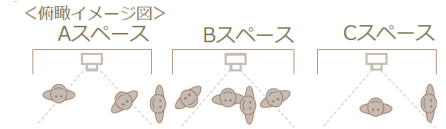
② 関心度を数値化する

ディスプレイへの「正対値」（正面を向いている人の数・位置・距離・時間）をトラッキングし「関心度」として数値化することで、サイン効果を定量的に測定できます。時系列データとしてグラフ化することもできます。前年対比など長期的な効果測定も容易に実現できます。



③ 注目度を数値化する

複数のカメラセンサーを対象物視線に配置し、複数台から抽出した「関心度」データを集計することで「注目を浴びている対象物（広告物）」を特定することが可能になります。その結果、ディスプレイを「客観的」かつ「スピーディ」に評価、比較、変更することができます。



※A/Bテスト --- 2つある選択肢のうち、どちらがより良い結果をもたらすことができるのかを見極めることです。このテストはウェブページ、メールマガジンやパナー広告などによく利用される手法です。

■ 得られるデータと分析方法

- ① 効果を測定したいウィンドウディスプレイにEsasyを設置。センサーは非常にコンパクトで、ディスプレイやマネキンの中に隠すことができます。
- ② カメラで閲覧者の顔を検知。計測時間（時間が長い・注目していた）、直径（カメラに近い・関心が高い）、位置（ディスプレイを見た場所）などの情報を取得。
- ③ データはインターネットを介して、CSV形式でサーバーにアップロードされるので、お客様が各自エクセルやBIツール等を使ってデータを解析することが可能になります。

カメラID	処理内容	日付 FROM	時間 FROM	日付 TO	時間 TO	計測時間 (秒)	直径	位置 (X座標)	位置 (Y座標)
カメラID	処理内容	日付 FROM	時間 FROM	日付 TO	時間 TO	計測時間 (秒)	直径	位置 (X座標)	位置 (Y座標)
CAM002_RP2	アクション	2015/12/6	12:55:21	2015/12/6	12:55:25	3	0.108217	0.475833	0.553231
CAM002_RP2	Watch	2015/12/6	14:23:15	2015/12/6	14:23:17	1	0.0920183	0.117027	0.444206
CAM002_RP2	Watch	2015/12/6	14:49:50	2015/12/6	14:49:54	3	0.142378	0.708982	0.420769

上図：ディスプレイ前の通行人の様子を「Esasy」が撮影し、項目ごとに通行人の行動を数値化。（イメージ）

下図：分析された情報はcsvの一覧として蓄積され、通行人が何に関心を持っているかを分析できます。

個人情報管理も考慮

カメラから取得したデータはEsasy機器内部で解析データ化され、テキストデータのみが通信されます。その際に、取得した画像データは消去されるため、ディスプレイをのぞいていた人物を特定することはできません。「Esasy」は個人情報管理も考慮しています。

<お問い合わせ> 株式会社 Crest 広報担当
 株式会社コミュニケーションデザイン 担当： 落合、 玉木
 TEL 03-5545-1661 FAX 03-5545-1662 E-mail ochiai@cd-j.net

■株式会社フューチャースタANDARDとの共同開発

2016年2月より、Crestはリアルタイム映像自動解析プラットフォームを開発する株式会社フューチャースタANDARDと共同開発を行います。今回の「Esasy」は共同開発第一弾であり、また、フューチャースタANDARDのリアルタイム映像自動解析プラットフォームを使用した第一弾のプロダクトになります。

≪会社概要 株式会社 Crest≫

設 立：1987年9月設立

代 表 者：永井 久志

所 在 地：東京都千代田区三崎町3-8-5

会社概要：株式会社 Crestは、1985年創業のサイン&ディスプレイ事業・DTP事業・ガーデニング事業を行う事業会社です。ICTやIOTの力を駆使してアナログなビジネスモデルに対し変革を起こし、それぞれの事業において各業界自体の本質的な価値の向上を目指しています。

U R L：<https://www.crestnet.jp/>